

双葉西小だより

令和6年 2月20日 文責 学校長 窪田 正幸



感謝の気持ちで『ありがとう』…

2月も半ばを過ぎました。よく、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われるように、3学期は特に過ぎていくのが早く感じられます。すでに、折り返し地点を過ぎ、6年生はあと19日後が卒業式となりました。在校生も、あと21日（5年生は22日）で修了式を迎えます。学年のまとめと次年度への準備期間として、残りの日々を充実させていきたいと思います。

さて、今児童会では「39(サトウ)運動」に取り組んでいます。これは、双葉西小に「ありがとう」という言葉を増やしたいと、児童会本部が中心となって進めている活動です。「ありがとう」にまつわるエピソードを「ありがとうレター」に書いてポストに入れると、給食の時間に児童会本部役員が校内放送で紹介してくれるというものです。この取り組みで、子ども達は、何気ない出来事にも感謝の気持ちを持つことが大切であることを感じているようです。

相手に感謝の気持ちを伝える「ありがとう」は、漢字では「有り難う」と書きます。「有り難い」とは「有ることが難しい＝めったにないこと」の意です。何気ない行動を「当たり前」と思わず「貴重で得難いもの」と捉えることで、お互いが感謝の気持ちを持って気持ちよく過ごすことができます。『美しい日本語』を表す言葉としても、常に上位に入る「ありがとう」。その言葉と心を、子ども達に育てていきたいですね。



大雪への対応 ありがとうございます。

今月5日（月）は今シーズン初めての大雪になりました。昼頃から降り始めた雪は、次第に強くなり、夕方には山梨県にも大雪警報が出るといった状況でした。降雪は夜には弱まりましたが、翌朝の安全な登校を考え、市内小中学校一斉に2時間遅れとさせていただきました。保護者の皆様方には、急な変更でご迷惑をおかけしましたが、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

また、登校時にも、通学路の雪かきをしていただきありがとうございます。南門付近をかいてくださった方、スコップを持って子ども達と登校し、登校の安全を確保してくださった方など、保護者の皆様方にご協力をいただきました。また、地域の方々も、子ども達が登校する前に…と、道路の雪を懸命にかいてくださいました。おかげさまで、子ども達は、大きな事故に遭うこともなく、安全に学校に登校することができました。改めて双葉地区の多くの皆様方に見守られて子どもたちが育っていることに心を動かされました。

大人にとっては厄介な雪…でも、子ども達は大喜びです。登校後は、校庭で雪遊びに夢中になっていました。



生け花教室(6年生)

今年もゲストティーチャーを招いての生け花教室が行われました。やり方やコツを教えていただきながら、花の位置や向き、長さなど、一人一人が自分なりの思いで仕上げていきました。どの作品もとても素晴らしく、後日の授業参観で、お家の方への感謝を表すプレゼントとして渡されました。



第3回学校運営協議会での熟議

2月9日(金)に第3回学校運営協議会を開催いたしました。学校から今年度の学校運営やいじめ・不登校の様子、学校評価の結果等について報告をさせていただきました。また、応援団活動の実績や成果と課題についても報告させていただきました。委員の皆様からは、来年度につながる貴重なご意見をいただきました。

コミュニティ・スクールとは、【保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することで、育てたい子ども像・めざすべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組みのある学校】です。ですから、学校からの報告にとどまらず、子ども達のより良い成長のためにどのように学校と家庭・地域が連携・協働していけるかを話し合うこと(熟議)が重要となります。

今回は、第2回学校運営協議会において行った熟議のテーマ「めざす子ども像」の内容と、学校評価における課題点とを照合し、テーマを設定しました。【児童のコミュニケーション能力を高めて行くには】、コミュニケーションの一つとして【あいさつができる子どもに育てていくには】の二つです。学校・家庭・地域でできることを付箋に書いて、机の上に貼り出しながら意見交換を行いました。以下が、出された意見です。

コミュニケーション能力の向上

学校で...

- ・地域の人との対話、地域の人前で発表の機会・会話が続くワードの学習・実践
- ・帰りの会で【フリートーク】 題は何でもいい 全ての話を受け入れる

家庭で...

- ・家庭でニュースやある事柄について、親も話し、子どもにも聞く

地域で...

- ・地域の行事に参加してもらう(子どもクラブ・夏祭り)



すすんであいさつ

学校で...

- ・あいさつ運動の継続
- ・学校応援団、学校運営協議会の人と児童との顔合わせの会をつくる

家庭で...

- ・おはよう・いただきます・行ってきます・ただいま等から習慣づける

地域で...

- ・登校中の子ども達に声かけをする
- ・地域ぐるみで積極的に声かけを続けていく

双葉西小の子どもたちに、自分が思っていること・考えていることを、親・先生・友達に伝えることができる力を、しっかりと身に付けさせていきたい。また、コミュニケーションの第一歩であるあいさつがきちんとできる力も高めていきたい。そんな思いを共有し、それぞれの立場でできることに取り組んでいくことで、子ども達の姿も少しずつ変わっていくはず。もちろん、上記以外にもできることはあるでしょう。大切なのは、私たち大人がアクションを起こすことだと思います。ぜひ、ご家庭で、地域で取り組んでいただけますようお願いいたします。